

# EU Indicators

発表日: 2024年9月2日(月)

## 欧州経済指標コメント: 8月ユーロ圏消費者物価

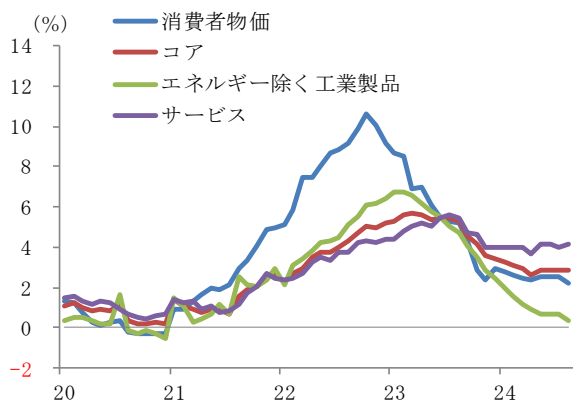
～上振れ要因と下振れ要因～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

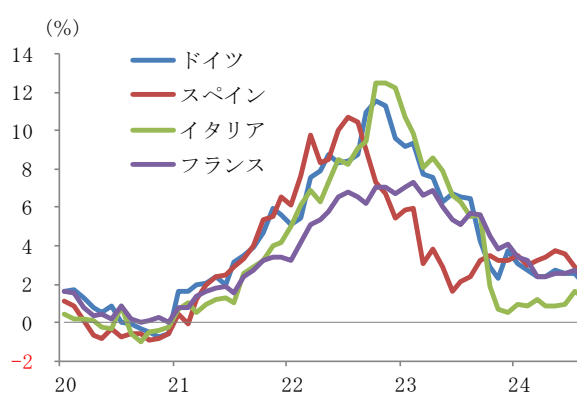
- 8月30日に発表された8月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比+2.2%と前月の同+2.6%から上昇率が鈍化し、2021年7月(同+2.2%)以来の2%台前半を記録した。前月に上振れしたインフレ率は、今月は一転下振れ。前年同月の反動減とガソリン価格の下落を受け、エネルギー価格(前月: 同+1.2%→今月: 同▲3.0%)が下落に転じたことが、ヘッドラインのインフレ率を押し下げた。その他の費目の内訳は、変動の大きい食料・エネルギー・アルコール飲料・たばこを除いたコア物価(前月: 同+2.9%→今月: 同+2.8%)の上昇率がやや鈍化した一方、食料・アルコール飲料・たばこ価格(同+2.3%→同+2.4%)の上昇率がやや加速した。
- コア物価の細かい内訳は9月18日に発表される確報値の結果を待たなければならないが、速報段階で入手可能な内訳からは、エネルギーを除く工業製品価格(同+0.7%→同+0.4%)の上昇率が一段と鈍化した一方、サービス価格(同+4.0%→同+4.2%)の上昇率が加速し、2023年10月(同+4.6%)以来の水準を記録した。フランス統計局によれば、これはパリ五輪の開催に伴う宿泊費の高騰や地下鉄料金の値上げを反映したもので、9月以降に剥落することが予想。
- なお、4～6月期のユーロ圏の妥結賃金は前年比+3.6%と前期の同+4.7%から上昇率が大きく鈍化した。これは四半期毎の振れが大きい一時金が影響した。過去数年の高インフレ率が最近の賃金交渉に遅れて反映されるなか、サービス物価の高止まりをもたらしている。同日発表された7月のユーロ圏の失業率は6.4%と前月の6.5%から一段と低下し、統計開始以来の過去最低を更新した。賃金トラッカーやサーベイ調査は先行きの賃上げ率の鈍化を示唆するが、労働需給の逼迫が続くなか、当面は賃金の高止まりが予想される。
- EU統一基準でみた国別の消費者物価は、エネルギー価格の上昇一服を背景に、ドイツ(同+2.6%→同+2.0%)、フランス(同+2.7%→同+2.2%)、イタリア(同+1.6%→同+1.3%)、スペイン(同+2.9%→同+2.4%)などの主要国が揃って、ヘッドラインの上昇率が鈍化した。なお、パリ五輪開催時の宿泊費高騰と地下鉄値上げの影響で、フランスではサービス価格が同+2.6%から同+3.1%に加速し、ユーロ圏全体のサービス価格を押し上げた。
- 先行きは、前年同月の反動によるエネルギー価格の押し下げが続く間、ヘッドラインのインフレ率は一時的に2%を下回る可能性があるが、押し下げが剥落する年末に向けて、インフレ率は再び2%台半ばに復帰することが見込まれる。その間、サービス価格の高止まりを背景に、コア物価は2%台後半で推移すると見込まれ、持続的な物価安定の達成にはまだ時間が掛かる。賃金抑制でサービス価格の上昇率が鈍化する2025年以降は、2%に向かって上昇率が鈍化すると予想。
- エネルギー要因による今月のインフレ率の下振れに持続力はないが、懸案のサービス物価の再加速もパリ五輪による一過性の上振れとみられる。全体としては、慎重な利下げ継続を裏付けるデータと言え、9月12日のECB理事会での25bpの追加利下げを示唆する内容。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2023				2024											
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
消費者物価	0.9	0.3	0.7	0.6	0.1	-0.2	0.0	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2
（前期比）																
（前年比）	5.0	2.7	2.6	2.5	2.9	2.4	2.9	2.8	2.6	2.4	2.4	2.6	2.5	2.6	2.2	
コア消費者物価	5.1	3.7	3.1	2.8	4.2	3.6	3.4	3.3	3.1	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9	2.8	
（前年比）																
食料/アルコール/たばこ	9.8	6.8	4.0	2.6	7.4	6.9	6.1	5.6	3.9	2.6	2.8	2.6	2.4	2.3	2.4	
（前年比）																
食料	10.3	6.8	3.6	2.0	7.5	6.9	6.1	5.4	3.3	2.0	2.2	2.0	1.8	1.6	—	
（前年比）																
アルコール	7.8	6.1	4.1	2.1	6.5	6.4	5.5	5.2	4.3	3.0	2.8	1.9	1.6	1.4	—	
（前年比）																
たばこ	7.3	7.1	7.7	7.4	7.5	7.3	6.5	7.6	8.5	7.1	7.2	7.2	7.8	8.3	—	
（前年比）																
エネルギー	-4.6	-9.8	-3.9	-0.0	-11.2	-11.5	-6.7	-6.1	-3.7	-1.8	-0.6	0.3	0.2	1.2	-3.0	
（前年比）																

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

